

山梨日日新聞 2014年02月04日(火)の記事より

がん、男性最多は前立腺 県内 検査普及、「胃」上回る

山梨県が3日発表した最新のがん患者データの集計(2011年速報値)によると、男性は前立腺がんが初めて胃がんに代わってトップになった。検査が普及したことを受け、潜在的な患者が掘り起こされたとみられる。一方、女性は4年連続で乳がんが最多。これまでのデータ分析によると、検診では7割以上ががんの早期段階で見つかったことから、県は「早期発見・治療にはがん検診が有効」としている。(桑原久美子)

上記山梨日日新聞の記事を受け、病院ランキング2012年4月～2013年3月退院患者の統計を参考に、山梨県がん診療連携拠点病院での前立腺がん治療者の割合を比較した。がん種により身近な医療施設での治療を選択したのか、前立腺がんでの確定診断等の精度に格差があるのか、その他の理由があるのか不明だが、4医療施設における前立腺がんの占める割合には偏りがある。前立腺がんにおいてはPSA検査の弊害も取り上げられているが、見つけなくても良いものを見つけて治療しているのだとしたら、そのシステムを早期に改善すべきではないだろうか。

2014年2月11日 若尾作成

■ がん患者総数
■ 前立腺がん患者数

